



## 挑戦と成長の二学期を終えて



吐く息が白くなり、冬の気配を感じるようになりました。行事の多かった二学期も、いよいよ締めくくりの時期を迎えます。長いようであつという間の学期でしたが、その一日一日に、子どもたちの挑戦と確かな成長がありました。

第4回を迎えたやまぶき祭は、多くの方の温かなまなざしと御協力に包まれながら、笑顔あふれるひとときとなりました。その中で、子どもたちは自分の思いを精いっぱい表現しようとする姿が印象的でした。練習を重ね準備を整え、仲間と協力し合う姿は本当に頼もしく感じました。発表後に見せてくれた笑顔の中には、「できた！」という自信と喜びが輝いていました。

二学期も、子どもたちは学習や生活の中で本に親しみ、読書を楽しむ姿がたくさん見られました。図書ラウンジでも、ページをめくる音が響いています。本との出会いは、心を見がき、想像の翼を広げる時間です。寄贈いただいた多くの本が、子どもたちの「読みたい」という思いをそっと後押ししてくれています。読書は学びを支える力であり、やまぶきの子どもの未来を照らす光だと感じます。

二学期を通して感じたのは、子どもたちは“支え合いながら成長している”ということです。友達に思いを伝えたり、苦手なことにもう一度挑戦したりしながら、「できること」を少しずつ増やしています。一人ひとりが自分のペースで前へ進む姿こそまさに「みがく むすぶ きりひらく」実践です。こうした積み重ねは、地域や保護者の皆さまが見守り、支えてくださるおかげで実現しています。改めて、温かい御協力に心より感謝申し上げます。

子どもたちがこの学期に積み重ねた力を胸に、新しい春へと歩み出せるよう、教職員一同で支えてまいります。保護者・地域の皆さまには、引き続き本校の教育活動に御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。



校長 江口 直美

## ■第4回やまぶき祭■

10月30・31日の2日間にわたって「第4回やまぶき祭」を開催しました。1日目は中学部と高等部の取組発表やPTAによる発表、教職員バンドの演奏、京田辺音楽協会の方の発表がありました。2日目は小学部の取組発表がありました。その他にも2日間にわたり、校務分掌やPTA福祉事業所のマルシェ、学校運営協議会等、たくさんの取組が行われました。子どもたちはこれまでの学習をとおして、練習や準備をしてきた成果を十分に発揮することができ、保護者や地域の方々と楽しい時間を共有することができました。お忙しい中、御参加いただいた保護者や地域の皆様、ありがとうございました。また、準備や取組等に御協力いただいたPTAや学校運営協議会、地域団体の皆様、教育後援会関係の皆様、大変お世話になり、ありがとうございました。



## ■ 中・高学部行事「RUNRUNRUN」■

11月28日(金)学校公開において、中高行事「RUNRUNRUN」を実施しました。「RUNRUNRUN」は、10分間、各チームの目標周数を目指して走るマラソン大会です。校舎外周約470メートルを2周目指す生徒、5周以上目指す生徒、またグラウンドコースで精いっぱい自分の目標に向けて歩行器や車椅子を使って進む生徒もいました。どの生徒も、自分の目標に向かって精一杯取り組んでいました。

レースは2レースで、中学部、高等部でチームを編制し、自分の出番ではないレースでは、必死に仲間の応援をしたり、文化部に所属している生徒はチアダンスで激励したりしていました。保護者の方、地域の方の参加もあり、大きな声援をもらいながら走ることができました。声援に励まされて、試走以上に力を発揮した生徒が多くいました。

また、当日は木津高校から多数の生徒が運営に協力してくれたり、レースに参加したりしてくれ生徒の励ましになっていました。そして日頃からお世話になっている外部団体や保護者の皆様にも参加していただき「外部団体×保護者」チームも編制しました。山城青年会議所様から4名、南山城学園様から2名、fun de mental様から1名、JOYチアリーディングクラブ様から1名、保護者は小学部から1名、中学部から1名、高等部から1名の方々そして、木津高校の生徒も運営に協力し、ランニングして、スポーツで汗を流すことの楽しさを共有した時間となりました。こうした行事をとおして、スポーツの楽しさ、体を動かす気持ちよさに気付き、生涯スポーツへのきっかけとなる機会になればと思います。

最後に、当日の運営では、YS(やまぶきサポーター)さんに、コースの安全確保や見守りなどのサポートの御協力をいただきました。この場をお借りしてお礼をお伝えしたいと思います。



## ■ OPEN SCHOOL DAY ■ 教育後援会のイベント!!

12月16日(火)教育後援会としてのイベントを開催!有友会長より「フォーミュラーカー」及び「希少車」と東村副会長の支援により京都スバル自動車様より「ライフセーバーカー」を御厚意で展示をしていただきました。



希少な車に、大興奮の子どもたちでした。参加していただいた会員の皆様ありがとうございました。



## ■ 公益財団法人 中谷財団 ■ 科学教育振興助成 成果発表会 於:東京工科大学

12月22日(月)今年度助成校の生徒・児童の日頃の研究・活動の成果や進捗を、テーマや年齢の異なる参加者に対して、助成を活用し取り組んだ「ワクワク実験室(小学部)」、「光と音の不思議(中学部)」について上田教諭と上村教諭が発表します。



## ■ 公益財団法人小林製薬青い鳥財団 ■ 助成決定!!

「医療的ケアが必要な重度肢体不自由児のコミュニケーションを広げたい!」を主題に、継続的支援プログラムとして、助成を受けることとなりました。(2026年4月より、5年間で1年ごと50万円の助成を受けます。)

学校への御理解・御協力ありがとうございます。子どもたちへのより良い教育のために、教職員とのよりよい関係づくりにご配慮ください。

! 適切な表現・声量

! 過度な要求

! 適切な時間の御相談

